

六甲山地の防災対策について学ぶ

～JICA「幹線道路維持管理コース」研修 現地案内～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) が行っている研修の一環として、アジア、アフリカ、中央アメリカなど10ヶ国の土木関係者が、六甲砂防事務所を来訪されました。

砂防えん堤の役割について説明を行い、様々な形状の砂防えん堤や斜面对策の現場などを案内しました。

概要

日時：平成26年11月19日 (水)

9:30～15:30

場所：六甲砂防事務所、^{ふき あい}葺合地区斜面对策工事 (新生田川上流) など

主催：JICA 参加人数：15名

○六甲山地の防災対策の取り組みについて説明

六甲山地の取り組みを自国での防災対策に活かしていただくために、対策現場を案内しました。

不透過型の^{ひがし ととや}東魚屋えん堤では、その特徴や、人目につきやすい場所にあるため

威圧感を与

えないように表面に加工をしていること、透過型の長者えん堤ではその特徴などを説明し、地形などの現地の状況に合わせて仕様を変え、砂防えん堤を整備していることを紹介しました。

また、^{ふき あい}葺合地区斜面对策工事では、険しい地形のため、索道 (ケーブルクレーン) とモノレールの2つを使い、工事を行っていることを説明しました。



ひがしととや
東魚屋えん堤



長者えん堤



ふきあい
葺合地区斜面对策工事

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL : 078-851-0535

